甲府市立千代田小学校　学校だより　第5号

千代田

千代田小ブログ2023

左記のQRコードから日々の子供たちの様子がご覧になれます

〒400-0082 山梨県甲府市下帯那町3034-2　TEL　055-251-8059 FAX　055-251-8067 E-mail：chiyoda-e@kofu-ymn.ed.jp

令和５年（2023年）９月１９日　　発行責任者　校長　篠原利明

２学期がスタートしました！

３８日間の夏休みが終わり，８月２８日（月）の始業式には，子供たちの明るい元気な声が学校に戻り，一気に学校の中が明るくなりました。子供たちがこうして元気に２学期を迎えることができたことをとても幸せに感じます。保護者の皆様，地域の皆様とよりよい連携をとりながら２学期も子供たちのために前に進んでいきたいと思います。引き続きご支援，ご協力をよろしくお願いいたします。２学期の始業式では，子供たちに次のような話をしました。

～始業式の校長の話より～

みなさんであいさつをしましょう。「おはようございます！」２学期の出発にふさわしい，さわやかなあいさつができましたね。今日からいよいよ２学期が始まりました。久しぶりに全校のみなさんや先生方が揃いました。新しい先生方も迎え，今日からまた新しいスタートです。

さて，みなさん，38日間の長い夏休みはどうでしたか。こうやって皆さん，一人一人の姿を見ていると，一回りたくましくなったように見えます。きっと，充実した夏休みを過ごすことができたのでしょうね。そして，今のみなさんの表情を見ていると，２学期に向けたやる気が伝わってきます。では，今日からの２学期のスタートにあたり，みなさんに向けて１つだけお話をします。

夏休み中に校長先生はあるスポーツ選手の本を読みました。この選手を知っていますか？大谷翔平選手です。この本の中には大谷選手のたくさんの名言が紹介されていました。こんなこともこんなことを言っているんですね。

「先入観は可能を不可能にする。」この言葉の意味は，「自分には無理だ」「自分には才能がない」と思えば，その通りになってしまうということです。でも逆に「絶対にできる！」「自分の才能は無限大だ！」と考えれば，その通りになるはずです。

みなさんも１学期からいつも心がけてがんばってきた言葉がありますね。そう･･･「やればできる」です。大谷翔平選手もいつもみなさんと同じ気持ちで「やればできる」と信じて「失敗を恐れずにバットを振る」ことで大きなホームランが生まれ，「強打者に打たれることを恐れずに，全力で投げること」で１６０キロのスピードボールが投げられて勝利を掴み取ることができるのでしょうね。

さて，２学期にはたくさんの行事があります。運動会やオータムフェスタに150周年記念式典･･･，これらの行事以外にも「できるようになりたい」「上手になりたい」と思っていることはみなさんにもたくさんあると思います。みなさんも大谷選手のように「絶対にできる」「自分ならできる」「やればできる」と思って毎日積み重ねていけば，魔法にかかったように必ずその通りになるんです。自分の可能性を信じて友達と一緒に頑張っていきましょう。千代田小学校の全ての先生がみなさんの夢や目標が叶えられるように，全力で支えていきます。そして，がんばっているお友達や周りの人をいつも応援できる人であってほしいと思います。

力をつけた１学期，たくさんの経験をした夏休み･･･２学期は「やればできる」を実現するときです。「夢や目標の実現」という大きな花をみんなでたくさん咲かせましょう。すばらしい２学期にしましょうね。

お話を最後まで真剣に聞いたり，時には校長からの質問に手を挙げて答えてくれたり，生き生きとした表情，子供たちの目の輝きから，２学期の更なる子供たちの活躍と成長を確信しました。

校長の話の後には，今度は子供たちから２学期の夢や目標が語られました。その内容から，どの子供も間近に迫った運動会や様々な行事を成功させたいという強い思いをもって始業式の日に登校してきたことがわかりました。教職員も子供たちのやる気をしっかりと支え，本校の強みを生かした「個が生きる一人一人が主役の千代田小学校」の実現に向けて，子供たちにしっかりと寄り添い，子供たちの夢や希望が叶えられるように頑張っていきたいと改めて思いました。

【久しぶりの教室の様子，友達や教師との会話も弾みます】

千代田小も「Our Team」の精神で･･･

ラグビーワールドカップが９月８日よりフランスで開幕し，日本代表は初戦を勝利で飾りました。前回大会の日本代表のチームスローガン「ONE TEAM（ワンチーム）」は「2019ユーキャン新語・流行語大賞」の年間大賞にも選ばれました。今大会の日本代表のスローガンは「Our Team」。自分たちのチームをみんなで作り上げていく，自分たち独自のチームを作り上げていくという意味合いが強いそうです。

8/25 第2回学校運営協議会では，今後のより良い学校づくりのための話し合いを行いました

夏休み中には８月２５日（金）に学校運営協議会が開催され，どのような子供たちに育てていくのか，改めて目標を共有し，それぞれの役割やできることを模索しました。

また，８月２６日（土）には，３０名近い地域の皆様の温かい協力を得ながら，奉仕作業がおこなわれ，２学期始めの学校環境を美しく整えていただきました。

千代田小学校も日本代表と同じように，「ONE TEAM」（一つ）になるだけではなく，さらに「Our Team」の精神で学校・家庭・地域がそれぞれの立場で子供たちにかかわっていくことが大切です。「Our Team」と言葉にするのは簡単ですが，自信をもって学校（チーム）に貢献できていると全員が思えていれば，すばらしい学校（チーム）になれるのではないでしょうか。

8/26 たくさんの地域の皆様に奉仕作業に協力していただきました。

学校では，子供たちのよりよい成長のために，より主体的にチームに貢献しようする参画意識を高めることが『Our Team』に求められていると気持ちを新たにしました。

２学期には地域・家庭と協力しながらおこなう行事も多く計画されています。協働で行われる行事によって地域や家庭は学校教育への理解が深まり，学校は地域・家庭への理解が深まります。地域の皆様や保護者の皆様のあたたかいご支援・ご協力がよりよい学校（チーム）づくりにつながります。子供たちをいつも中心に考えながら，皆様と一緒に前に進み，千代田小学校にかかわるすべての人が「Our Team（私たちのチーム・私たちの学校）」と言えるようにしていきたいと考えています。

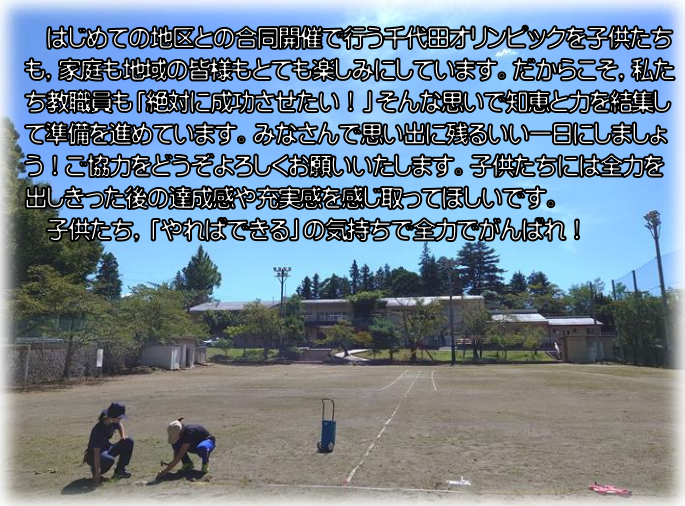
ちなみにラグビーの精神として「One for all　all for one」があります。「ひとりはみんなのために，みんなは一つの目的のために」という意味で使われるこのフレーズ･･･ここでいう目的は，ラグビーでいうとトライまたは勝利だと言えます。これは，学校生活に置き換えても意味が通じます。一つの目的，つまり一年間のゴールのために全員が役割をしっかり果たすのが重要だ，ということなのです。４月から学校では，目指す理想の学校や学級の姿があり，それに向かって子供たちがその良さを生かしながら，役割を果たしています。ラグビーワールドカップのチームは３３人で構成され，試合に出場するのは１５人。ただ，メンバーもメンバー外の選手もお互いにリスペクトしている。このリスペクトが，揺るぎない敢闘精神の源になっているのです。

千代田小学校の子供たちも教職員もそして地域・保護者もお互いがお互いの良さを認め合い，称え合い，補い合いながら，「ONE TEAM（ワンチーム）」となり，全員が「Our Team」の精神でたくさんのトライを積み重ね，令和５年度のゴールに向かっていきましょう。

千代田オリンピックに向けて

テーマ「元気いっぱい千代田オリンピックみんなで協力して頑張ろう！」

令和５年９月３０日（土）開催　雨天順延（詳細はプログラム参照）



個が生きる一人一人が主役の学校

２学期の授業が始まって２週間が経過し，子供たちもだいぶ学校がある生活のリズムに慣れてきたような気がします。いつものように教室の授業の様子を見て感じたことです。それは先生方が教室にいる子供たち一人一人を大切にし，本校の少人数の強みを生かした「一人一人が主役」となるような場面設定を作りながら授業づくりをしているということです。千代田小学校の先生方の授業には，発問（子供たちへの言葉かけ）や教材・教具・ICTの活用など子供たちが意見を言いたくなる，やってみたくなるような工夫が見られます。

今日も子供たちが帰り，職員会議が終わった後，明日の授業のために遅くまで準備をしていました。やる気あふれる子供たちのために，明日もまた頑張ります。